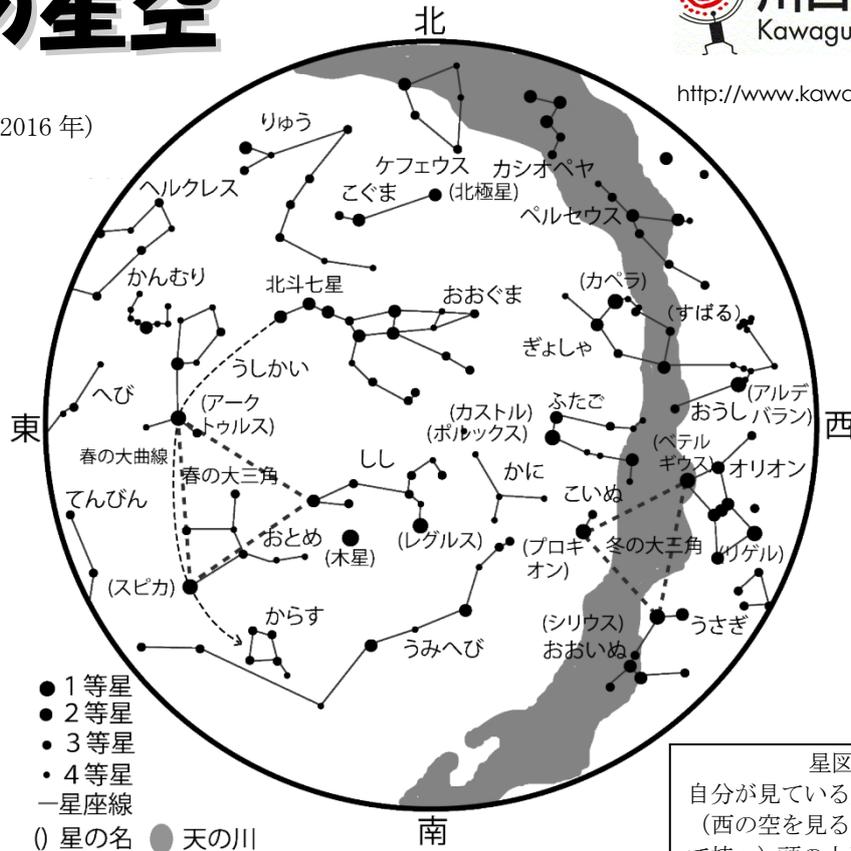


今月の星空

4月 (2016年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 星座線
- () 星の名 ● 天の川

星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

- 月 齢 ① 下弦 1 日、● 新月 7 日、② 上弦 14 日、○ 満月 22 日、③ 下弦 30 日
- 惑星情報 水星 夕方 西 (うお座 → おひつじ座 -1 → 3 等級)
- 火星 明け方 南 (さそり座 → へびつかい座 -1 等級)
- 木星 夕方 東 → 南 (しし座 -2 等級)
- 土星 明け方 南 (へびつかい座 0 等級)

☆ 水星が観望好機 (4月中旬)

普段はなかなか見られない水星が、18日に太陽から東側に最も離れて見える「東方最大離角」を迎え、4月中旬に夕方の西北西の空で見つけやすくなります。右図のように、11日から26日まで午後6時50分の高度が10~13度ほどあります。水星はおうし座の1等星アルデバランの右下20度ほど離れたところにある(16~21日ころ)ので、まだ見たことがない方はアルデバランを目印に探してみてください。

※アルデバランから水星を探すコツ

腕をのばして、握りこぶしを縦にしたときの幅が約10度です。
つまり、水星はアルデバランから握りこぶし2個分(20度)離れていることとなります。(16~21日ころの場合)

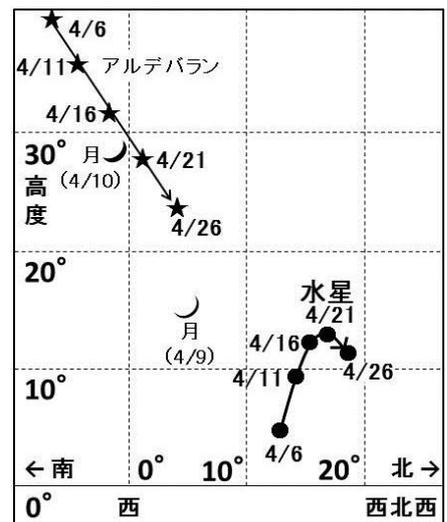


図 水星(●)とアルデバラン(★)の位置 (午後6時50分)

☆ 今年最小の満月 (22日)

地球の周りを回る月の軌道は楕円になっていて、地球と月の距離はいつも変化しています。今回は、地球と月が最も遠ざかる時に満月になるため、今年最も小さく見られます。ちなみに今年最大の満月は11月14日で、今回よりも1割ほど大きくなります。